

項目	発言者	発言の要旨
新市市章大 賞表彰式 14時～	司会	<p>皆様、本日はお忙しい中、ご臨席を賜りありがとうございます。</p> <p>私は、本日の進行を務めさせていただきます、金井町総務課の近藤一美でございます。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>「両津市・相川町・佐和田町・金井町・新穂村・畑野町・真野町・小木町・羽茂町・赤泊村合併協定調印式」の開会に先立ち、新市市章最優秀賞の表彰式を行いたいと思います。</p> <p>新市市章の選定は、公募により287人の方から515点の作品を応募いただきました。</p> <p>協議会では、選定委員会を開催し、5作品に絞り込んだ後、6月15日に開催しました第10回佐渡市町村合併協議会において、新市の市章を確認しております。</p> <p>採用作品をご応募いただきました受賞者の方をご紹介します。</p> <p>愛知県豊橋市にお住まいの田中博士様です。</p> <p>新市市章デザインには、次のような趣旨が込められております。</p> <p>「全体の形は、佐渡市のSで、島の形のイメージと、はばたくトキの形でもあります。色は夕日・朝日に輝く島と、島を取り巻く海を表しています。豊かな自然と未来へ続く、薫り高い文化を表現しています。」</p> <p>それでは、前の方へお願い致します。</p>
	会長 小田初太郎	<p>(表彰式 賞状・副賞の授与)</p> <p>表彰状。最優秀賞、田中博士様。あなたは、新市市章募集にあたり、最もふさわしい作品を応募されました。</p> <p>本日ここにその功績をたたえ、記念品を贈り深く感謝の意を表します。</p> <p>平成15年6月28日、佐渡市町村合併協議会 会長小田。ありがとうございました。おめでとうございます。</p>
	司会	<p>ありがとうございました。皆様、もう一度盛大な拍手をお願いします。</p>

開 会	司会	<p>それでは、只今から「両津市・相川町・佐和田町・金井町・新穂村・畑野町・真野町・小木町・羽茂町・赤泊村合併協定調印式」を開会します。</p> <p>開会に当たり、佐渡市町村合併協議会会長、小田初太郎畑野町長よりご挨拶申し上げます。</p>
開会の挨拶	会 長 小田初太郎	<p>この度「両津市・相川町・佐和田町・金井町・新穂村・畑野町・真野町・小木町・羽茂町・赤泊村」合併協定調印式を挙げるに当たり、一言、ご挨拶を申し上げます。</p> <p>本日は、ご多忙の中、平山県知事代理として、川上副知事さん、そして衆議院議員の近藤先生、並びに、県議会議員の中野・中川両先生をはじめ、あまたの、ご来賓各位のご臨席を賜り、錦上、さらに花を添えていただきましたことに対し、まずもって厚くお礼を申し上げます。</p> <p>さて、私ども佐渡10ヶ市町村の合併につきましては、ご承知のとおり、平成13年6月22日に、任意の協議会であります「佐渡市町村合併検討協議会」を立ち上げ、合併に係る協議をスタートさせていただきました。</p> <p>以後、さまざまな紆余曲折がございましたが、住民福祉のため、そして、時代の推移を明察する中で、幾多の課題を乗り越え、平成15年3月14日に、法定の協議会であります「佐渡市町村合併協議会」を設置し、協議を重ねた結果、新市建設計画をはじめ、すべての協定項目について合意を得、本日の調印式を迎えることができましたことは、なによりの喜びでありますとともに、感慨無量がございます。</p> <p>本日に至るまでの、市町村関係各位のご心労、そして、洞察と決意に対し、衷心から感謝と敬意を表する次第であります。</p> <p>本日の調印後は、関係市町村議会での廃置分合議決をはじめ、その他手続きを経て、平成16年3月1日をもって、「佐渡市」が誕生する訳ではありますが、その間、微力ではありますが、誠心誠意、全力を傾注して参る所存でありますので、関係各位の格別なるご指導、ご鞭撻を伏しお願い申し上げます。</p> <p>終わりに臨み、この調印式が、さらに飛躍し発展するであろう「佐渡市」の、記念すべき第1歩となりますこと</p>

		とを、心からご祈念申し上げまして開会のご挨拶にかえさせていただきます。どうもありがとうございました。
来賓紹介	司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、本日、ご臨席をいただきました来賓の皆様をご紹介申し上げます。</p> <p>新潟県知事 平山征夫様でございます。</p> <p>新潟2区選出 衆議院議員近藤基彦様でございます。</p> <p>続きまして、両津市・佐渡郡選出県議会議員中野洸様でございます。</p> <p>同じく、中川カヨ子様でございます。</p> <p>新市名付け親大賞を受賞されました赤泊村本間絹枝様でございます。</p> <p>新市市章最優秀賞を受賞されました田中博士様でございます。</p> <p>なお、本調印式に当たり、新潟県知事平山征夫様には、調印の立会人としてご出席をいただいております。</p> <p>また、新潟県佐渡地域振興局長井上敬一様、新潟県総合政策部市町村合併支援課長中澤清様にもご出席をいただいております。</p>
経過報告	司会	<p>それでは、まず初めに、佐渡10市町村の合併に向けた経過報告を申し上げます。</p>
経過報告	事務局長 齋藤 英夫	<p>合併協議会事務局長の齋藤でございます。</p> <p>ただいまから、合併協議の経過報告を申し上げます。お手元の封筒に同封してあります「佐渡10市町村の合併に関する経過」をご覧ください。</p> <p>現在、住民の生活圏は、交通情報手段の発達により、市長村の区域を超えて拡大をしていること、また少子・高齢化の進展や価値観の多様化により、住民の皆様が求めている行政サービスも多様化・高度化している状況にありますことは、ご案内のとおりでございます。さらに、今後の地方分権が進む中で、住民に最も身近な自治体である市町村が、自立をすることが求められております。</p> <p>佐渡の10市町村は、これまでも福祉や環境の分野において、共通の課題については佐渡広域市町村圏組合を組織し、共同で取り組んでまいりました。このような状況にありまして、佐渡圏域のさらなる発展を目指して</p>

		<p>平成 13 年 6 月 22 日には、佐渡一島一市を目指して、任意の「佐渡市町村合併検討協議会」を設置し、市町村長、議会議長の方々を中心として協議を開始いたしました。</p> <p>協議会では、それぞれの市町村の行政制度を調査し、比較・検討のうえで、約 800 項目にも及ぶ行政制度の調整を行ってきました。また、平成 14 年 4 月 20 日から 70 名の委員の方々から、新市のビジョン検討委員会を設置し、新市の将来構想について審議をしていただきました。平成 15 年 1 月 7 日には、各市町村議会の議決をいただき、法定の合併協議会として学識経験者の方々からも協議に参加をし、「佐渡市町村合併協議会」として新たに発足をいたしました。</p> <p>協議にあたりましては、新潟県御当局の指導、助言をいただき、合併の方式、新市の名称といった基本項目をはじめ、新市の建設計画等、合併協定項目の全般にわたり協議会委員の方々をはじめ、多くの関係各位のご理解をいただき、平成 15 年 6 月 15 日には新市の市章選定と併せ、すべての合併協定の確認をいただくこととなりました。そのことを踏まえ、本日合併協定書を調整し、調印式を迎えることになりました。</p> <p>なお、新市の建設計画の策定にあたり、新潟県知事との協議につきましては、6 月 13 日に事前協議の回答を受け、6 月 26 日付をもって異議ない旨の回答をいただいたところでございます。合併協定書及び、新市の建設計画につきましては、お手元にその写しを配布してありますのでご覧願いたいと存じます。</p> <p>以上をもちまして、佐渡 10 市町村の合併協議の経過報告とさせていただきます。ありがとうございます。</p>
合併協定書の確認	司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次に本日調印いたします合併協定書の内容をご確認させていただきます。</p>
	次長 本間進治	<p>事務局次長の本間でございます。</p> <p>合併に係る協定項目は全部で 40 項目でございます。平成 13 年 6 月から協議を重ね、本年 6 月 15 日に開催されました第 10 回佐渡市町村合併協議会で、協定項目の最終確認をいただきました。そして本日合併協定書をと</p>

	<p>りまとめたものでございます。</p> <p>それでは、本日お配りいたしました合併協定書をご覧いただきたいと存じます。時間の関係もでございますので、ここでは基本5項目のうち4項目を中心にご確認をさせていただきたいと思っております。</p> <p>最初に合併の方式でございます。各市町村の人口・面積・財政状況等には違いがありますが、合併をするのであれば、10市町村は対等な立場で合併しようということで、新設合併で行うことに確認がされました。</p> <p>次に合併の期日でございますが、平成16年3月1日を合併期日とすることで確認がされました。</p> <p>次に新市の名称でございますが、新市にふさわしい名称を公募いたしました。応募数は島内を始め、全国各地から254種類651件の応募がございました。その中から協議会で佐渡市とすることに確認がされたものであります。</p> <p>佐渡市を選定した理由といたしまして、佐渡という名称は全国的に知られているとともに、従来から住民に親しまれている名称であり、歴史や文化、豊かな自然、そこに住む者の人柄等、佐渡のもつすべてのものを包含して言い表すことができるというものであります。</p> <p>また、新市におけるまちづくりを考えた時、佐渡島民が一体となって取り組むうえで、最もふさわしい名称であるということから、選定がされたものでございます。</p> <p>次に新市の事務所の位置でございますが、合併後新たに建設する本庁舎の建設位置は、現在の金井町千種沖地区とするものでありまして、新庁舎ができるまでの間、現在の金井町役場の庁舎で事務を取り扱うことで確認がされたものであります。</p> <p>ここまでの合併協定のための基本4項目でございます。また、協定書の5ページには、合併後の新市の建設計画が記載してございます。豊かな自然、薫り高い文化、活気あふれる新しい島づくりを基本理念として、計画策定がされました。内容につきましては、本日配布いたしました新市建設計画の冊子をご覧いただきたいと存じます。</p>
--	--

		<p>以上、合併協定の内容のご説明とさせていただきます。 次に調印書を朗読させていただきます。協定書の36ページの次のページをお開きください。</p> <p style="text-align: center;">調 印 書</p> <p>両津市、相川町、佐和田町、金井町、新穂村、畑野町、真野町、小木町、羽茂町、及び赤泊村は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の2第1項及び市町村の合併の特例に関する法律(昭和40年法律第6号)第3条第1項の規定に基づく佐渡市町村合併協議会において、上記のとおり合併に関する協議が整ったので、ここに署名調印する。平成15年6月28日</p> <p>以上でございます。</p>
合併協定書の調印	司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、合併協定の調印に移らせていただきます。</p> <p>順番でございますが、最初に両津市長から順に署名・調印をお願いします。その後、立会人であります新潟県知事平山征夫様に署名・調印をお願いします。</p> <p>それでは、皆様、ステージの方へお願いいたします。</p> <p>皆様ありがとうございました。</p> <p>本日ここに、佐渡10市町村の合併調印が、新潟県知事平山征夫様立会いの下、正式に執り行われました。これを記念し、知事、市町村長10人の固い握手により、その証を確実なものにさせていただきたいと思っておりますので、ステージ中央にお集まりください。</p> <p>皆様、盛大な拍手をお願いします。</p>
関係市町村長挨拶	司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、皆様降壇の上、もとの席へご着席ください。</p> <p>それでは、続きまして、関係市町村長を代表し、佐渡市町村会会長であります石塚英夫赤泊村長よりご挨拶申し上げます。</p>
	赤泊 石塚英夫	<p>この調印式にあたりまして、全市町村長参加しておりますけれども、時間の関係上代表して一言ご挨拶させていただきたいと思っております。</p> <p>大変、我々の目で見ると長かった感じがいたします。しかし、新聞報道等によりますと、ちょっと短かったん</p>

	<p>じゃないかというような報道もあるように思います。</p> <p>思い起こしますと、平成10年6月であったと思います。毎年市町村長と議長で、当面する問題点について1年に1回会合をもちながら話し合いをしております。その10年の6月、当時の両津市議会議長でありました坂脇さんから、任意協をやったらどうかというご提案がありました。そのときに我々、むしろ市町村長の方は、確かに相当盛り上がっていることは重々承知はするけれども、まだ法的に未整備なものがある。もう少し検討しようではないか。というような方向から、この協議会が始まったわけであります。</p> <p>そして13年6月、同じく市町村長と議長との懇談会の席上で、もうやるべきではないかという時期になったという話になりました。では、すぐここで任意協というものを立ち上げ、どういうふうなものをその後考えようではないか、というような話があったわけでありますけれども、任意協という言葉に非常に大きなアレルギーがあるというようなことで、合併検討協議会という名前で発足しよう。しかし内容は任意協ですよ。というところから始めました。</p> <p>そして、任意協あるいは途中で一つ欠落というふうなものもありながら、13年8月からやろうじゃないかということで、事務局を立ち上げました。そして、その時にも皆さんに申しあげたのは、佐渡の寝せ起こしをする一つのシンクタンクを作る以上、少なくとも本来なら事務局に課長級をと言いたいけれども、まさかこの市町村でも課長を出しにくいだろう。従って、補佐級を出していただきたいということをお願いをして発足をいたしました。どこの市町村でも非常に厳しい状態であったと思いますけれども、そのほとんどが補佐級の人たちから発足をいたしました。</p> <p>途中で両津からも入っていただきまして、10人体制で動いてきたわけであります。そしてその間に、新市いわゆる新しく市をつくる場合、新市ビジョン検討委員会をつくろうではないかという話がありました。全島から非常に頭の優れた人たちを大勢集まっていたいて、い</p>
--	--

	<p>ろいろな検討をしていただき、そしてりっぱなビジョン政策をしていただきました。今現在のこの合併をするにあたっての最も大きな礎石が、ビジョン検討委員会でつくっていただいたこの資料から始まった、というように思っているわけであります。</p> <p>途中から、とてもこれではやりにくい。もう10人いると、これには大変変な話ですけれども、市町村長、私自身からも大きな抵抗がありました。これ以上、市町村の頭脳をよそに持っていくというところには問題があるということを言いましたけれども、しかし皆さんからご協力をいただいて、また新しい頭脳で20人で発足をしてきたわけであります。途中からもう少し必要である、もう我々みたいな小さい所ではとてもこれ以上できないということで、大きな所からまた出していただいたという事務局体制につきましても、きちっとした方向でやってきたつもりであります。しかし、どこの市町村でもやはりいろんな問題を抱えております。それをどのように理解をし、皆様方からご協力をしていただくか、それはやはり我々に与えられた一つの使命であろうというように思っております。</p> <p>今日の新聞にも、失礼ですけれども、相川町の方でいわゆる旧町村名云々というのがありました。これも法定協の中では、とにかく発足をしませんか、これで基本的には旧市町村名は冠せない、だけれどもこのことについては、それがないと発足できないというのではないのだから、これは新しい市になって、その地域からどうしてもこれがないとできない、というような場合には、時の首長が、時の市議会が、当然そのようなものについては議論をし、議論をするというよりも、地域としてまとまっている以上、それを認めようではないか、これも一つの確認というふうに理解をしております。今すべてがほかに確認をしてあるのか、そうでもありません。それは、これからまだ何ヶ月間かの時間があります。その間に、各専門委員会で詰めをしていく、そういうふうなものも相当残っている、というように聞かしていただいております。</p>
--	--

		<p>この法定協議会では、基本論でもっていきませんか、という方向でもってきている、というようにご理解をいただきたいと思っているわけであります。しかも途中で新しい市の公募、これもおかげさまで島内からこの人がということで表彰を受けられました。</p> <p>先ほど市章についても、またよその県からではありませんけれども応募していただいて、立派な市章もできました。</p> <p>そして、あといろんな問題点も残っているとは思いますが、動きながらもっていきませんか、という方向の中で考えるべきではなかろうか、というように考えているわけであります。でひとつ、そういう特に事務局が非常に苦労しながらもってきております。いわゆる任意協から法定協に至るまで、何十回という会合を重ねました。その間に、合併についての市町村長会議、これは自分自身が勘定ができないくらい、すり合わせをしたつもりであります。もちろん、それで事足りるとは思っておりません。まだまだ皆さん方から、こういうふうなものを、こうすることによって、よりよい市ができるのではないか、というようなご意見を各市町村ごとに聞いていただいて、基本論として一つになろう、というような方向でもっていくべきではなかろうか。</p> <p>今、川上副知事さんをご来賓としてお招きし、そして立会人としてサインもいただきました。</p> <p>我々は、あともう残されたしばらくの時間でございませけれども、その中でよりよい方向を作っていきたいというように思っております。我々市町村長はもちろんでありますけれども、この法定協議会に参加していただいた委員の皆さん、あるいはまたビジョン委員になっていただいた大勢の住民の皆さんと、そしてまたそれを支えていただいた10市町村の地域の皆さんの、より一層のご協力を心よりお祈り申し上げ、よりよい市の建設に向かって奮進をしたいというように思っております。皆さんの今後より一層のご健勝と、我々に対するご指導を心からお祈りを申し上げまして、今までの経過を含めてご挨拶をさせていただきます。本当にありがとうございます。</p>
--	--	---

		した。
立会人祝辞	司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それではここで、立会人をお願いいたしました新潟県知事平山征夫様からご祝辞を賜りたいと思います。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
	知事 平山征夫	<p>ただいま紹介いただきました、新潟県副知事の川上でございます。本日は非常におめでとうございます。</p> <p>今日は平山知事の名代としまして、合併協定の調印式に立会人ということで出席させていただいております。</p> <p>知事から祝辞を預かってきておりますので、披露させていただきます。</p> <p>祝辞</p> <p>佐渡10市町村の合併調印式にあたり、一言お祝いを申し上げます。本日ここに、佐渡10市町村の合併協定の調印が無事執り行われましたことを、心からお喜び申し上げます。</p> <p>またこの日を迎えるまでの、10市町村の関係者の皆様方のご努力と熱意に対しまして、心から敬意を表します。</p> <p>これまでも道路交通網の整備、経済活動の活発化などで、島民の日常社会生活圏は拡大し、すでに医療・福祉・観光など様々な面で行政区域を越え、相互に深く関わり合い、一体化している実態にあります。</p> <p>合併後は、全国に知られている佐渡特有の自然環境や、歴史・文化を活かした観光資源と、佐渡産の農水産物を有機的、一体的に活用するなど、全島的な視野に立ったまちづくりを推進し、島外との交流人口を増やすことにより、雇用の場の確保、創出がされ、一層活性化が図られるものと期待しております。</p> <p>ご案内のとおり、国・地方をとりまく財政状況が厳しさを増す一方、地域住民に最も身近な自治体であります市町村が、地方行政の担い手として、最も重視される地方分権の流れの中で、今回の合併は行財政基盤をさらに強化し、より効率的で計画的に21世紀にふさわしいまちづくりを推進し、島民福祉の向上を図るうえで、誠に意義深いものと考えております。</p>

		<p>県といたしましても、合併後の一島一市としての新しいまちづくりを推進するための、佐渡市町村合併協議会で策定されました、新市建設計画に掲げられている基礎事業が着実に実現できるよう、一層の支援・協力をして参りたいと考えております。</p> <p>結びに、10市町村の合併により、来年誕生します佐渡市の今後ますますの発展と、本日ご列席の皆様のご健勝を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。</p> <p>平成15年6月28日 新潟県知事 平山征夫 代読 本日はおめでとうございます。</p>
来賓祝辞	司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、大変お忙しい中、ご臨席をいただいておりますご来賓の皆様からも、ご祝辞を賜りたいと思います。</p> <p>まず、衆議院議員近藤基彦様よろしく申し上げます。</p>
	衆議院議員 近藤 基彦	<p>本日はおめでとうございます。大変感慨深いものがあります。</p> <p>先ほどご挨拶なされた赤泊村長さんは、平成10年からおっしゃっていますが、それ以前から、私の親父が一島一市という夢をずっと石塚村長と語り合って、島民の皆様方も、いろんな機会に親父の口から聞いたことがあるだろうと思います。それが一步山を越えたということで、大変うれしく思っております。</p> <p>ここにある10本の旗が、来年の3月には1本になるわけです。そして、この10本の旗が歴史となります。</p> <p>先ほど石塚村長さんもおっしゃっていたように、いろんな紆余曲折があり、またいろんなことを乗り越えてきた皆さん方に敬意を表させていただきますとともに、それを支えてくれたスタッフの皆さん方には、本当にご苦労だったろうと思いますし、また大変良い建設計画をまとめていただいたと思っております。</p> <p>まだまだ今後いろんな事があるだろうと思います。ただ、何のための合併か、その基本的な部分、これはたった一つしかありません。それは島民のためです。ですから、合併というものが少なからず島民の利益にならないようならやめた方が良いでしょう。地域の利益ではないですよ。</p>

		<p>佐渡に住む全部の島民が、この合併のおかげで利益を被るような合併に、これから細かく配慮をしながらやっていかなければいけないだろうと思います。それが基本の考え方だろうと思います。合併をしたからサービスが低下をした、あるいは、合併のおかげで生活が苦しくなったという合併であっては何の意味もない。それには本当にたぶん細かい配慮が必要だろうと思います。おそらく、ますますこの合併のこれから来る課題というのは、これまでの基本的な部分から踏み込んだ実施計画に入っていく段階で、非常に厳しいものになってくるだろうと思います。ただ、本当にこの一島一市が将来において、夢のある、活力のあるこの佐渡の島づくりに、絶対的な貢献をしていただけるように、今日お集まりの皆さん方、特に調印をなされた10名の市町村長さん方、あるいは法定協と一緒に議論をなされた議長さん方、あるいは島民に選ばれた議員さん方、これは相当な責任がかかってくるだろう、私自身も責任逃れをする気はありませんので、精一杯佐渡のためにがんばらせていただきますけれども、しかしこれで合併が調印されて、確かにうれしいことではありますけれども、又一つ課題を背負ったと、そして合併後もぜひとも皆さん方に、なおもこの経緯の中で、ずっと苦勞なされてきた皆さん方に、来年3月1日以降もぜひともお力添えをしていただいて、よりよいこの佐渡市というものができあがりますように、そしてそれがうまく滑り出しますように、心からご祈念を申し上げますし、また皆様方にそういった意味では、この島民の利益ということを常に頭に入れてご活動をされますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。本当におめでとうございました。</p>
	司会	<p>ありがとうございました。 続きまして、新潟県議会議員中野洸様お願いします。</p>
	県議会議員 中野 洸	<p>本当に、ただいま合併協議会の調印式、10市町村の市町村長さんにより、厳粛な調印式をじっくりと見させていただきました。そして、その中でふと頭を過ったこと、これはもしかすると、もっと以前にこの佐渡は一つであったのではないかと、それは徳川の時代に、相川に</p>

		<p>佐渡奉行というものがあって、全島を天領として、これを行った。その頃はまさに、金銀の産出でこの島は宝の島として栄えた時代があった。</p> <p>また、平成のここへきて、再びこの島が甦ってくるその調印の日であったのではないかな、そんな感を実はしたわけでございます。</p> <p>先ほど、近藤基彦代議士からのご挨拶にもありました、本当にいままでの間、ここまでの道のり、険しい道のりを越えて、今日の日までこられたわけです。そしてもう後には引けません。これから前を向いて、しかも、島民一人一人あるいは、10ある市町村、そこが今よりも悪くなるというようなことがあってはなりません。これを少しでも良くしていくと、これは、これから一つになろうとする全島民の英知を結集して、そして努力をしていかなければならない事だと思っております。そういった意味で、それはきちとなされる事ができれば、島外あるいは日本国、あるいは世界から見て、既に佐渡は一つという感覚でものを見ているわけです。</p> <p>これからますます国際的にも交流していく時代、そういった意味でみんなで頑張って、これからの新しいこの島佐渡市をつくるということで頑張っていかななくてはいけない。私も私の立場で、賢明になって頑張っていくことをお誓い申し上げます、お祝いの言葉に代えさせていただきます。おめでとうございます。</p>
	司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、新潟県議会議員中川カヨ子様お願いします。</p>
	県議会議員 中川カヨ子	<p>本日、ただいま新潟県お立ち会いのもとで、無事調印式が行われました。心からおめでとうと言いたと思います。本当に皆さんご苦労様ございました。</p> <p>13年6月の検討協議会から、14年10月の推進協議会、そして15年3月の法定協議会、そして今日の調印式まで順調に運んでこられましたのは、今日お集まりの皆様方、そして関係各位の弛まぬご努力の賜物と思い、心から敬意を表します。</p> <p>現在過半数の人たちは、国や県を信じ、新市建設のビ</p>

		<p>ジョンに、新しく生まれ変わる佐渡の希望を託しましたがけれども、また一歩厳しい財政のもと、佐渡の行く末を案じ、警鐘を鳴らしている人たちが多くことも忘れてはならないと思います。県当局の皆様におかれましては、今後ますますご指導・ご支援を賜りまして、合併して良かったと佐渡の皆さんから思われるようになってもらいたいと思っております。そして願わくは、私たち女性の声、弱者の声を吸い上げていただき、この合併が島民にとりまして福音となりますよう希望いたしまして、祝辞としたいと思います。本当におめでとうございます。</p>
閉会	司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは閉会にあたり佐渡郡町村議会議長会会長小田壽畑野町議会議長よりご挨拶申し上げます。</p>
16時00分	畑野町議会議長 小田壽	<p>本日は大変お忙しい中にも関わりませず、新潟県川上副知事様をはじめ、関係者各位の多数のご臨席を賜り、そして盛大な調印式が行うことができました。誠に喜ばしい限りで心から御礼を申し上げます。</p> <p>また今回の合併につきまして、市町村長さんをはじめ、協議会の皆さんには本当に熱意ある協議を重ねて、そして市町村長さん、そして学識経験者の皆様、本当にご苦勞様でございました。改めて敬意を表したいと思います。</p> <p>また、私ども市町村議会議長といたしましては、常に議会意志を尊重し、そして議長の個人の意志は制して協議会に参加をして参りました。このことにつきましては、議長諸兄改めて深甚なる敬意を表したいと思います。大変ありがとうございました。</p> <p>本日の調印式をとくにご覧に皆さんなっていたいたと思います。市町村長さんの協定書への調印が終わりました。その時に、一筆一筆に責任の重大さと、そして新市に対する期待感が万感胸を募ることがあったことは、私のみならず皆様も同様であったと、斟酌いたしているところであります。</p> <p>今後は、まず廃置分合議決をはじめとする、あらゆる手段を考じながら、来年の3月には新市佐渡が誕生するわけであります。そして、一日でも早く速やかに一本化を図り、そして、秩序ある島の発展を願う次第でございます。</p>

		<p>ます。そのためには、本日ご参加の皆様方の更なるご支援をお願い申し上げまして、大変簡単ではございますが、本日の閉会の挨拶に代えさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。</p>
	<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして「両津市・相川町・佐和田町・金井町・新穂村・畑野町・真野町・小木町・羽茂町・赤泊村合併協定調印式」を終了いたします。ご臨席の皆様、本日はどうもありがとうございました。</p> <p>なお、報道関係者の皆様にご連絡申し上げます。この後、関係市町村長による調印記者会見を行いますので、金井町役場3階大会議室へお集まりください。</p>